

令和元年 11 月 8 日

# 小規模事業者景況調査報告書

(2019 年 7-9 月期)

福島市商工会広域連携協議会

(飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会)

(本資料のお問合せ先)

福島市商工会広域連携協議会 (松川町商工会内)

電話：024-567-2265 / F A X：024-567-2364

# 調 査 概 要

## 1. 調査対象

この調査は、福島市商工会広域連携協議会（飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会）の小規模事業者の景況を調査したものである。

### ■対象企業数及び業種別内訳

・製造業	11社	
・建設業	11社	
・卸・小売業	13社	
・サービス業	15社	合計 50社

## 2. 調査対象期間

2019年7月～2019年9月期を対象とし、調査時点は2019年9月30日とした。

## 3. 調査方法

- (1) 福島市地区内商工会の職員による訪問面接等による調査
- (2) 各商工会の会員数を勘案して地区割りをを行い、調査対象企業の抽出は業種等有意選出方法による。

### 【本報告書で用いる用語の解説】

#### (1) 小規模事業者（小規模企業者）の定義

業 種	中小企業者 (下記のいずれかを満たすこと)		小規模企業者
	資本金の額又は 出資の総額	常時使用する 従業員の数	常時使用する 従業員の数
① 製造業、建設業、運送業	3億円以下	300人以下	20人以下
② その他の業種(②～④を除く)			
③ 卸売業	1億円以下	100人以下	5人以下
④ サービス業	5,000万円以下	100人以下	5人以下
⑤ 小売業	5,000万円以上	50人以下	5人以下

#### (2) DI(ディー・アイ)

Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の景況を示すいくつかの指標をアンケート調査して、その判断を指数化したもの。

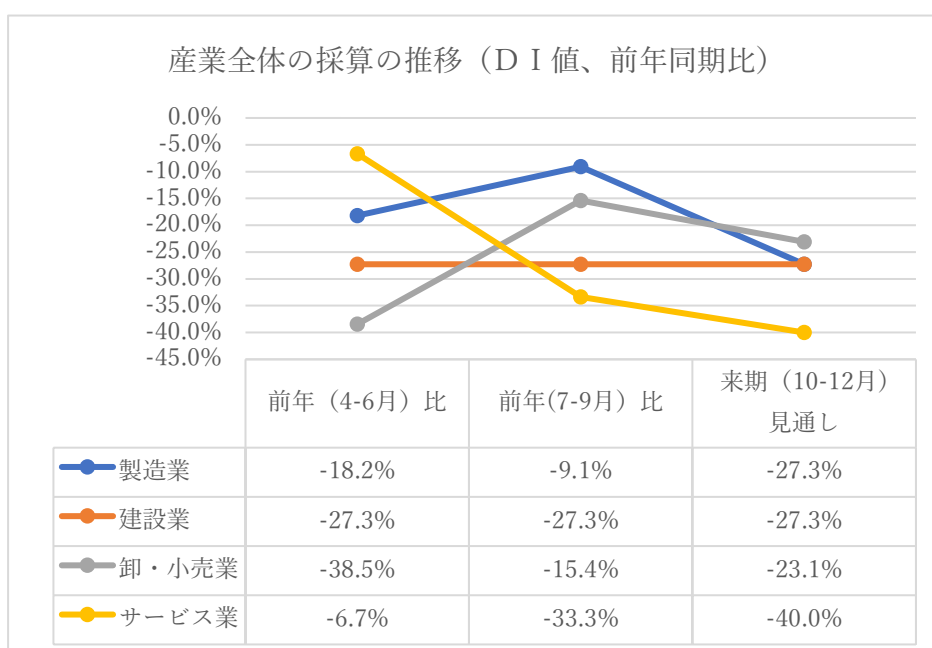
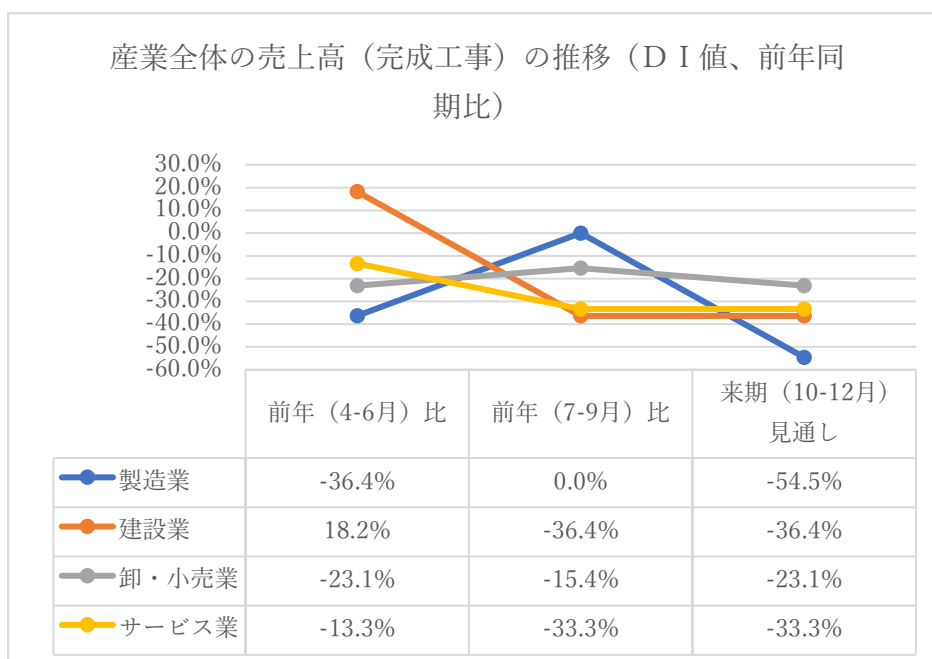
各判断項目について3個の選択肢を用い、選択肢毎の回答者数を単純計算し、増加（上昇・好転）の割合から減少（低下・悪化）の割合を差し引いた方法で算出している。

# 1. 産業全体の景況概要

福島市商工会地区における今期（2019年7月～9月期）の中小企業景況調査の結果によると、売上額（完成工事額）では製造業 0%ポイント、建設業△36.4%ポイント、卸・小売業△15.4%ポイント、サービス業△33.3%ポイントと、製造業以外は悪化といった景況感となった。

また、今期D I 値と比較した来期（2019年10月～12月期）の見通しは、売上額（完成工事額）では、製造業（54.5%悪化）、卸・小売業（7.7%悪化）と、悪化の見通しとなっているが、建設業、サービス業は横ばいとなっている。

採算においては、製造業（18.2%悪化）卸・小売業（7.7%悪化）サービス業（6.7%悪化）が悪化の見通しであるが、建設業は横ばいである。



















県内全体と福島市商工会地区のお天気マークを比較すると、売上状況においては建設業は全体的に良く、更にサービス業の実績についても良い景況感となっている。

















また、採算においては、サービス業の実績は良い景況感であるが、それ以外については来期まで雨の見通しとなっている。

### 産業全体のお天気マーク（前年同期比）

#### ■売上状況

	県内実績	福島市地区実績	県内見通し	福島市地区見通し
製 造 業	△28.0% 	△0.0% 	△40.0% 	△54.5% 
建 設 業	△17.1% 	△36.4% 	△14.3% 	△36.4% 
卸・小売業	△38.2% 	△15.4% 	△51.0% 	△23.1% 
サービス業	△20.0% 	△33.3% 	△15.4% 	△33.3% 

#### ■採算状況

	県内実績	福島市地区実績	県内見通し	福島市地区見通し
製 造 業	△46.0% 	△9.1% 	△36.0% 	△27.3% 
建 設 業	△16.7% 	△27.3% 	△20.0% 	△27.3% 
卸・小売業	△49.1% 	△15.4% 	△38.2% 	△23.1% 
サービス業	△15.4% 	△33.3% 	△24.6% 	△40.0% 

<お天気マークの説明>

<マークは各指標のDI値を表す>

+15%以上



晴

-5%~-14.9%



小雨

+5%~+14.9%



薄日

-15%~49.9%



雨

±4.9%



曇

-50%以下

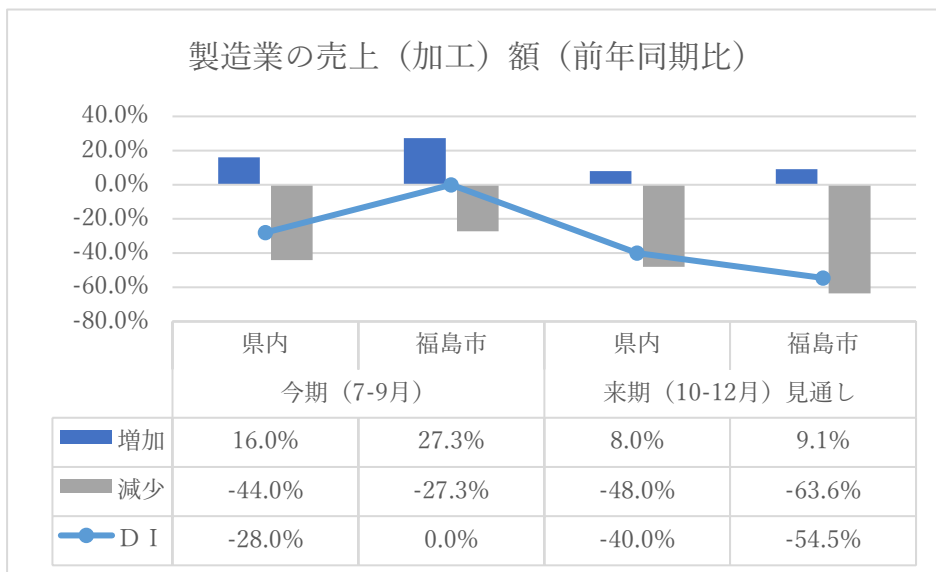
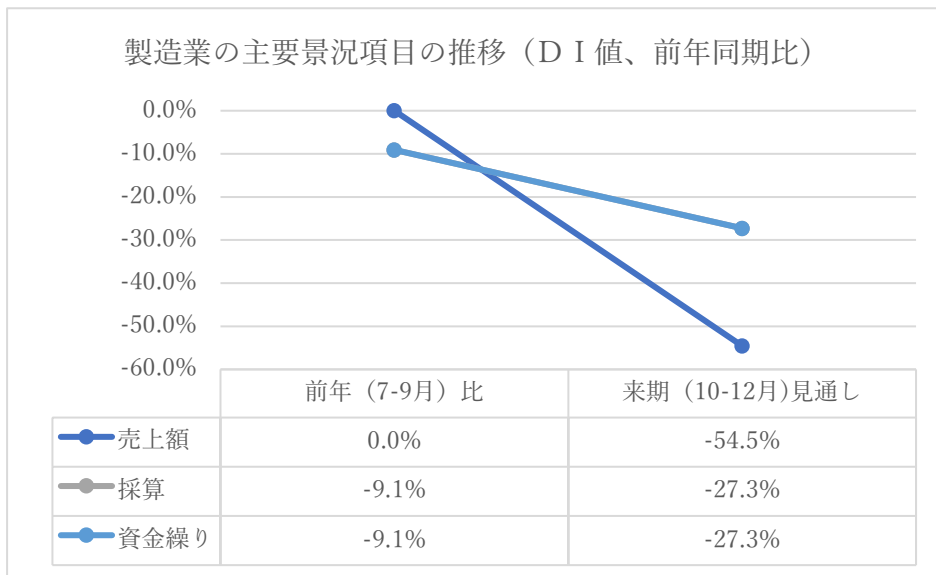


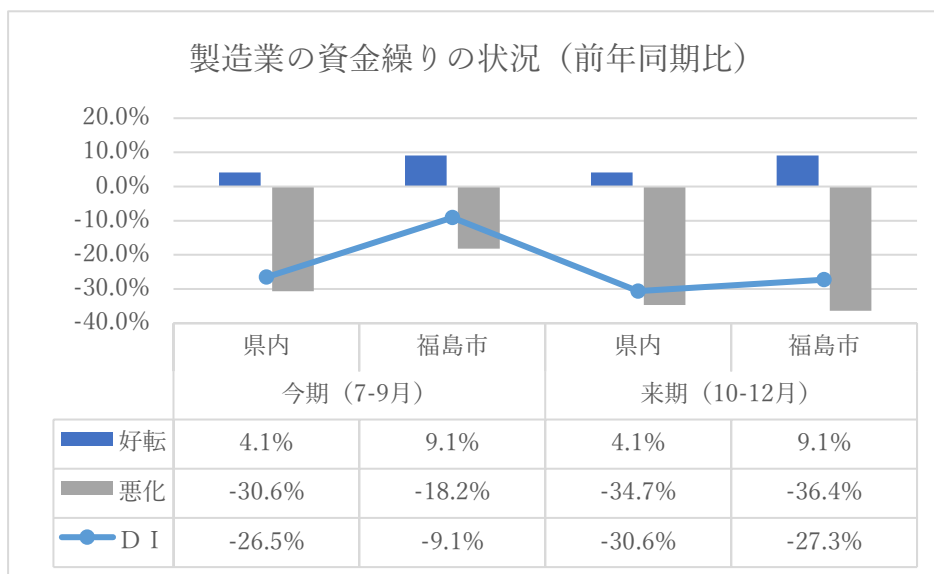
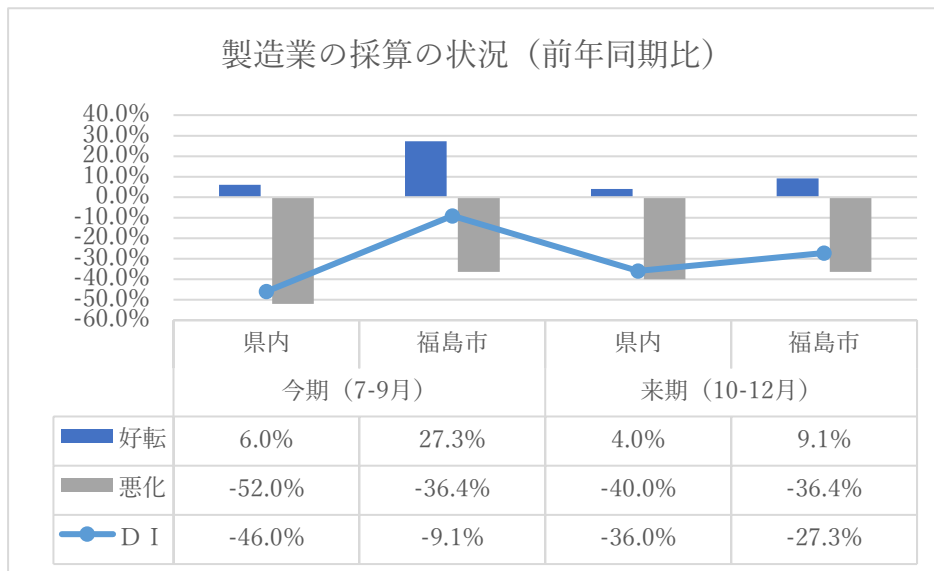
大雨

## 2. 製造業

今期（2019年7月～9月期）のDI値は、採算、資金繰りそれぞれ△9.1%と、売上額においてはプラスマイナスゼロの数値となった。

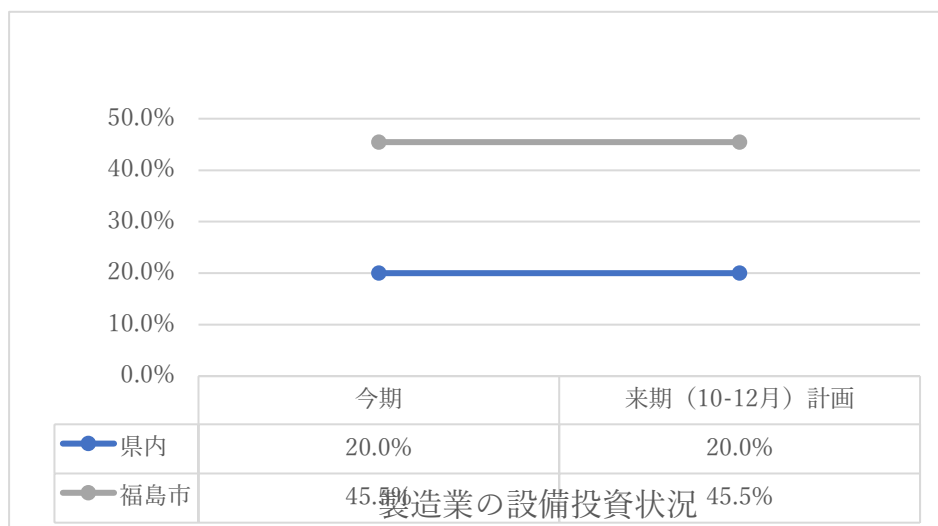
来期（2019年10月～12月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上（加工）額△54.5%（△54.4%の悪化）、採算△27.3%（18.2%の悪化）、資金繰り△27.3%（18.2%の悪化）と全ての項目において悪化の見通しとなっている。





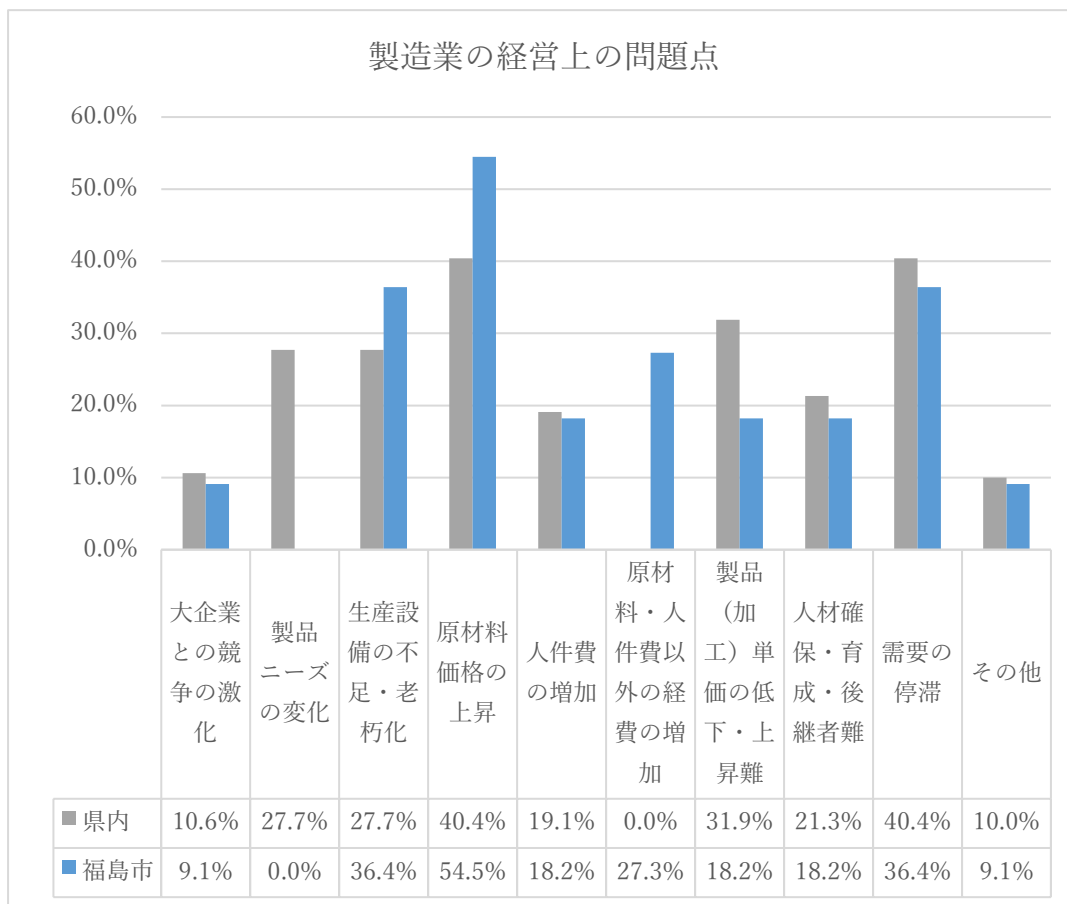
今期の設備投資実施企業は、45.5%（5社）となった。投資内容は、土地1社、生産設備2社、車両運搬具2社、OA機器1社となっている。

また、来期に設備投資を計画している企業も45.5%（5社）であり、今期実績同様である。なお、計画している投資内容は建物1社、生産設備3社、付帯設備1社となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「原材料価格の上昇」が54.5%、「需要の停滞」と「生産設備の不足・老朽化」がそれぞれ36.4%、「原材料・人件費以外の経費の増加」が27.3%と高い数値となっている。

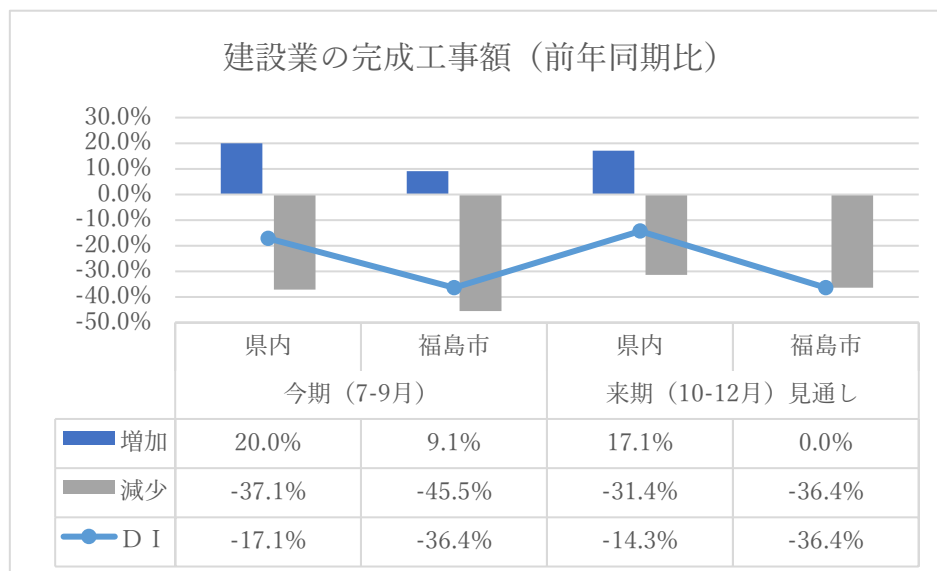
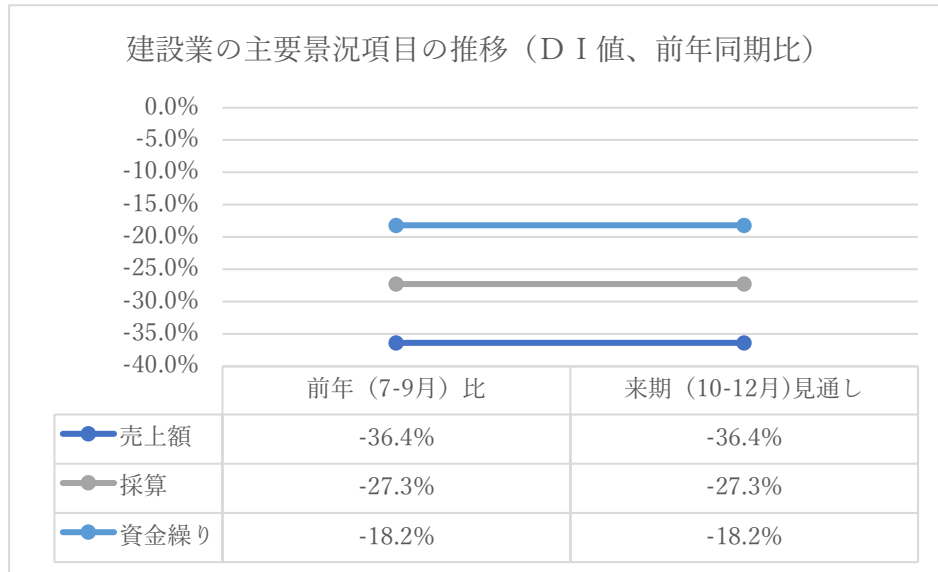
県内全体と比較すると、「製品ニーズの変化」、「製品（加工）単価の低下・上昇難」が低い一方、「原材料・人件費以外の経費の増加」といった課題の割合の差が大きい。



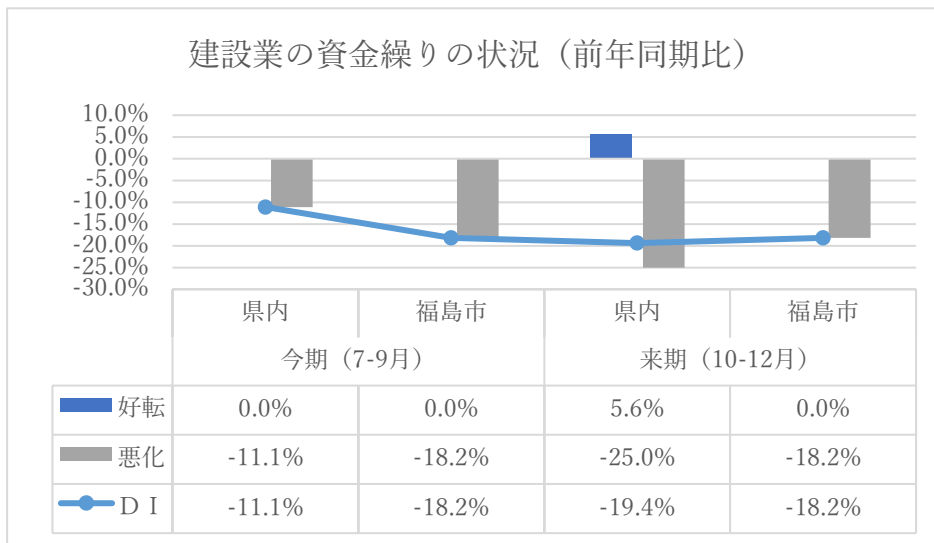
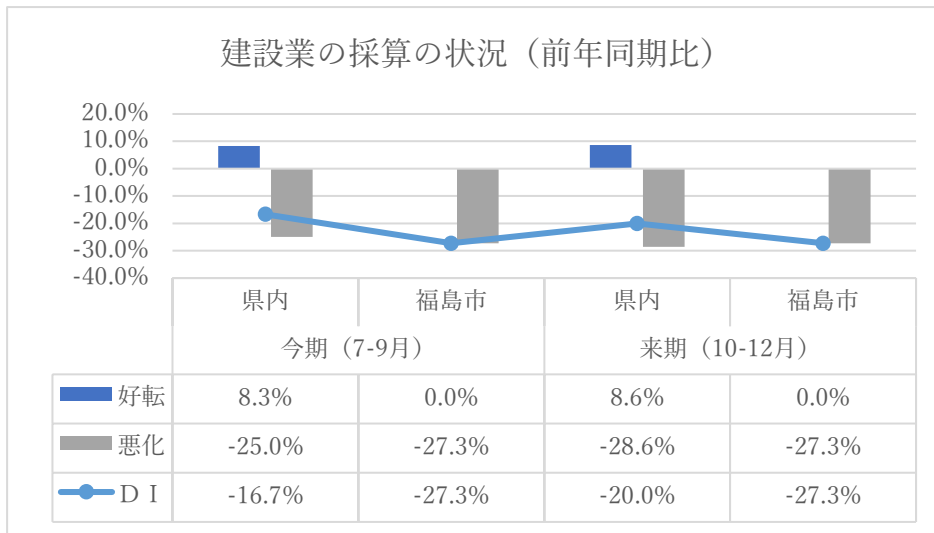
### 3. 建設業

今期（2019年7月～9月期）のDI値は、完成工事額△36.4%、採算△27.3%、資金繰り△18.2%と、全て悪化している。

来期（2019年10月～12月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、すべて横ばいの見通しとなっている。



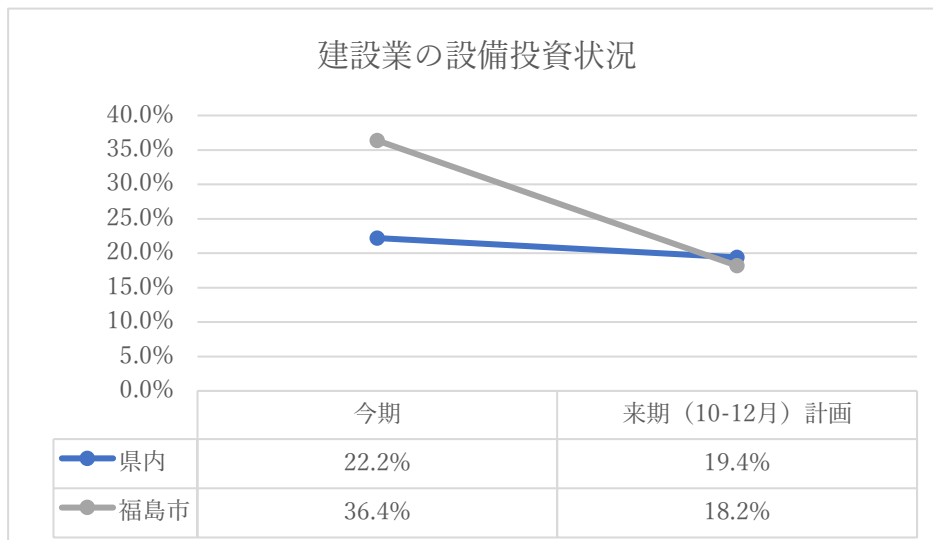




今期の設備投資実施企業は、36.4%（4社）となった。投資内容では、車両運搬具（2社）、建設機械（1社）、OA機器（1社）、付帯設備（1社）となっている。

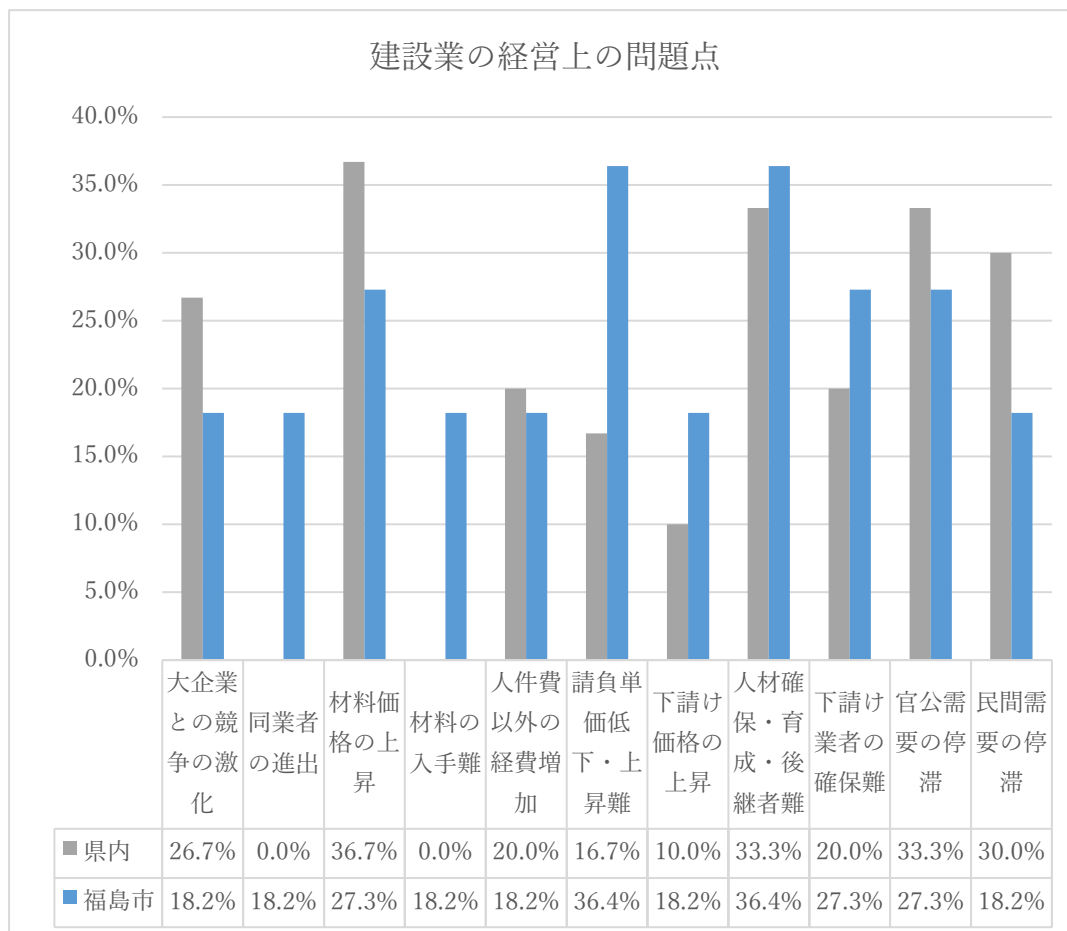
また、来期に設備投資を計画している企業は18.2%（2社）であり、今期実績から18.2%（2社）減少している。

なお、計画している投資内容は建物（1社）、車両運搬具（1社）となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「請負単価低下・上昇難」と「人材確保・育成・後継者難」がそれぞれ36.4%、「材料価格の上昇」と「請負業者の確保難」と「官公需要の停滞」がそれぞれ27.3%となっている。

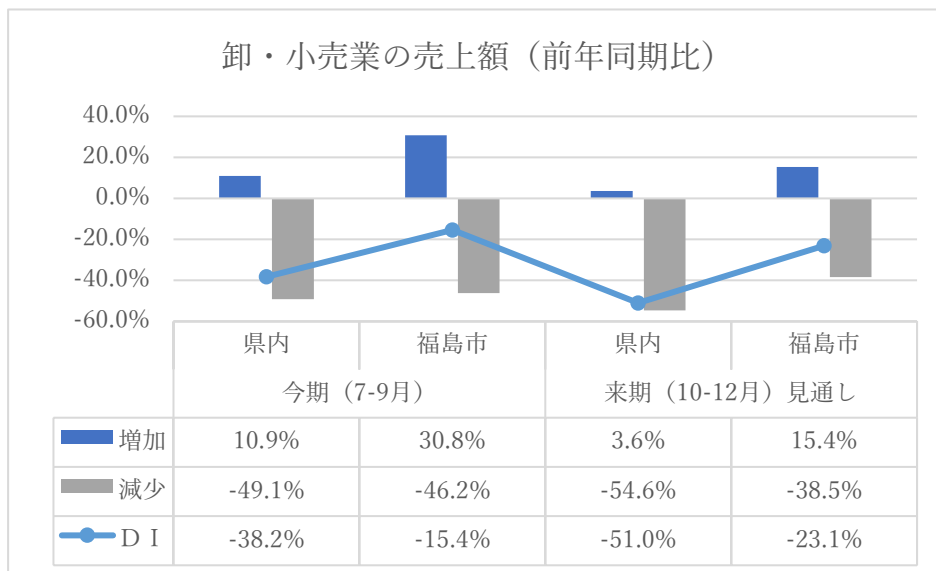
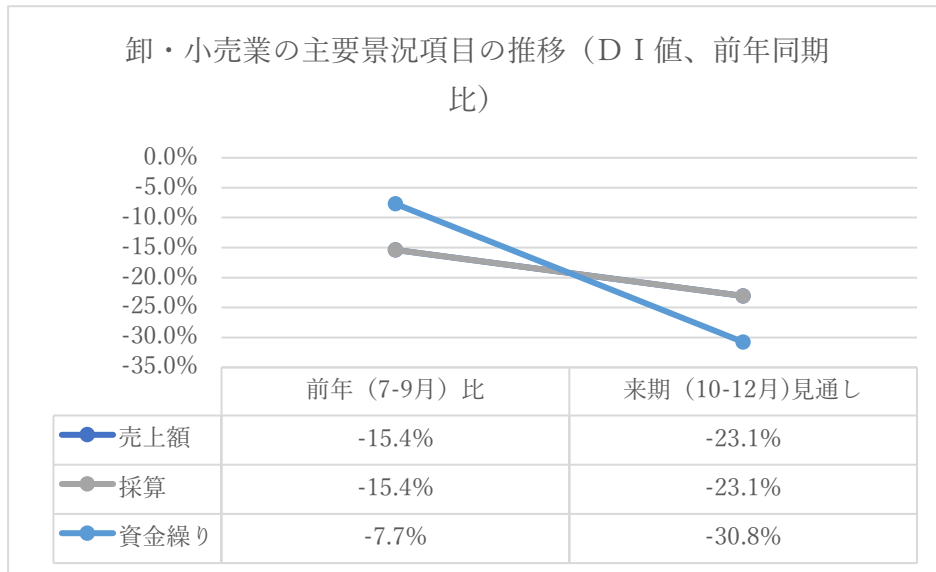
県内全体と比較すると、「大企業との競争の激化」や「材料価格の上昇」、「官公需要の停滞」が低い一方、「同業者の進出」や「材料の入手難」、「請負単価低下・上昇難」、「下請け業者の確保難」といった課題を抱える割合が大きい。

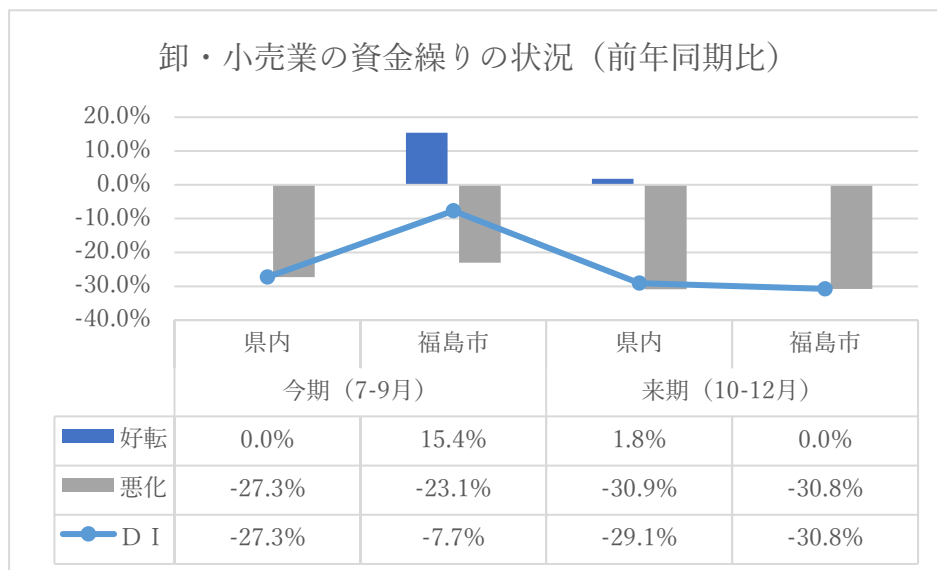
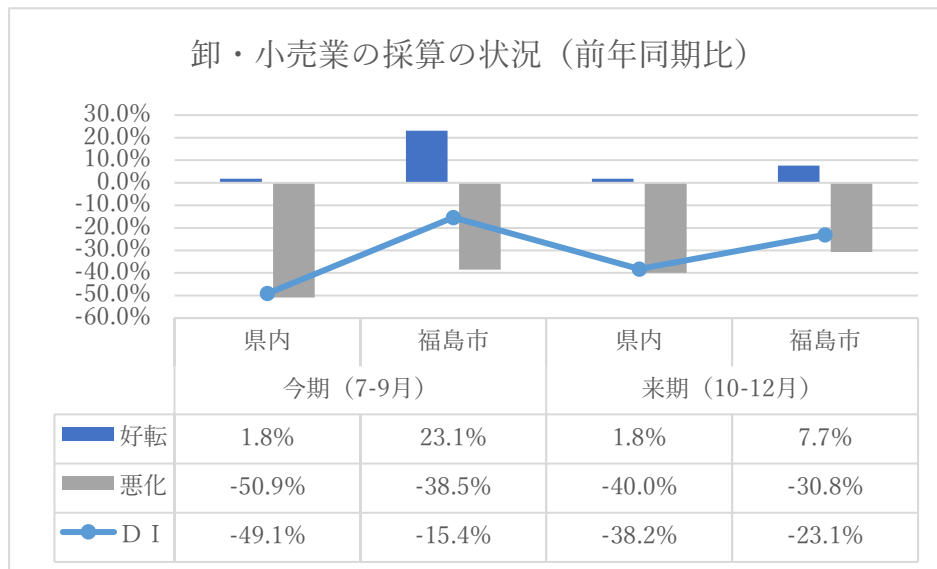


## 4. 卸・小売業

今期（2019年7月～9月期）のDI値は、売上高△15.4%、採算△15.4%、資金繰り△7.7%と、全ての項目でマイナスの値となった。

来期（2019年10月～12月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上高△23.1%（7.7%の悪化）、採算△23.1%（7.7%の悪化）、資金繰り△30.8%（23.1%の悪化）と全ての項目で悪化の見通しである。

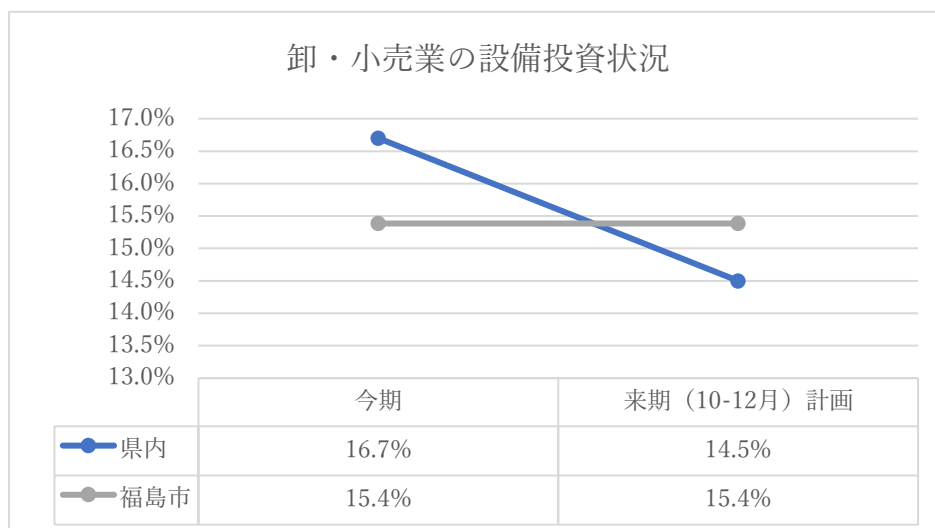




今期の設備投資実施企業は、15.4%（2社）となった。投資内容では、建物とOA機器の導入となっている。

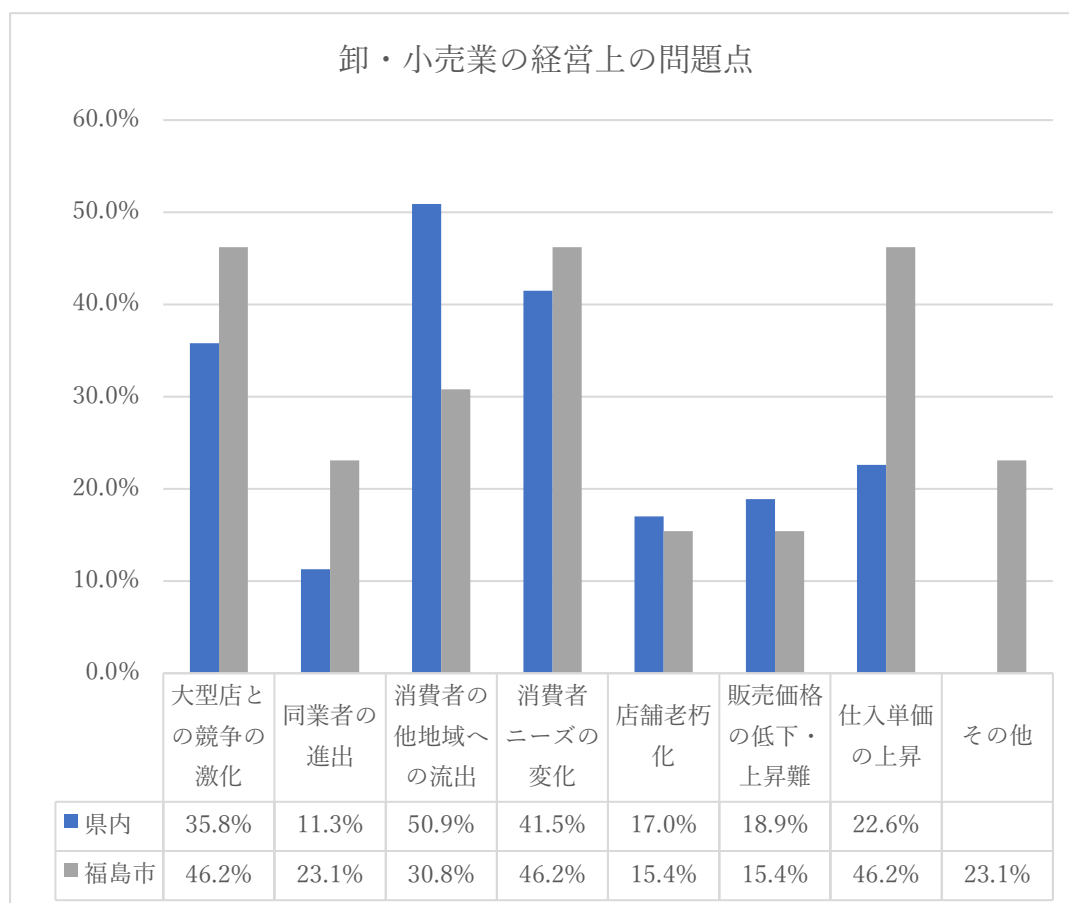
また、来期に設備投資を計画している企業は15.4%（2社）であり、今期実績同様である。

なお、計画している投資内容は車両運搬具（1社）、付帯設備（1社）となっている。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「大型店との競争の激化」、「消費者ニーズの変化」、「仕入単価の上昇」がそれぞれ46.2%、「消費者の他地域への流出」が30.8%、「同業者の進出」、「その他」が23.1%となっている。

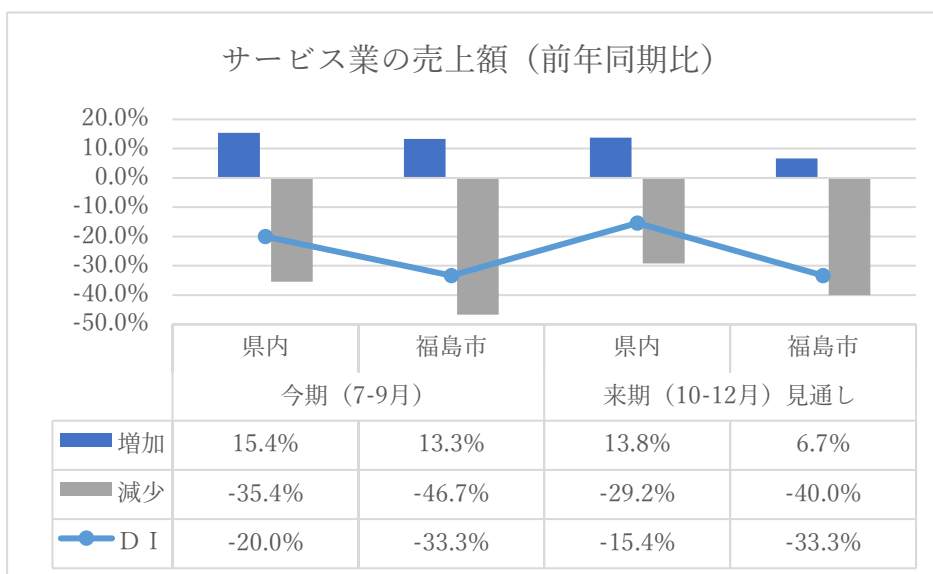
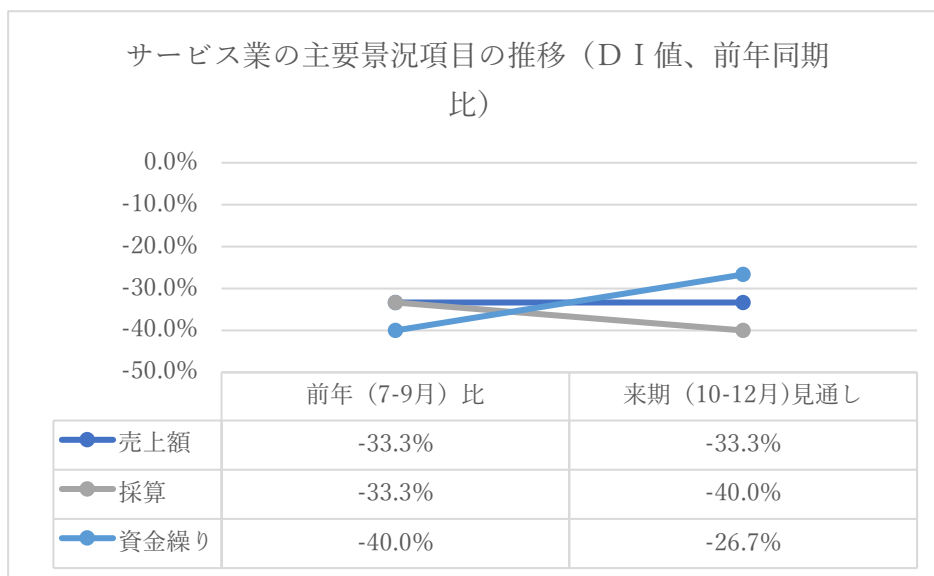
県内全体と比較すると、「消費者の他地域への流出」が低い一方、「大型店との競争の激化」、「同業者の進出」、「仕入単価の上昇」といった課題を抱える割合が大きい。

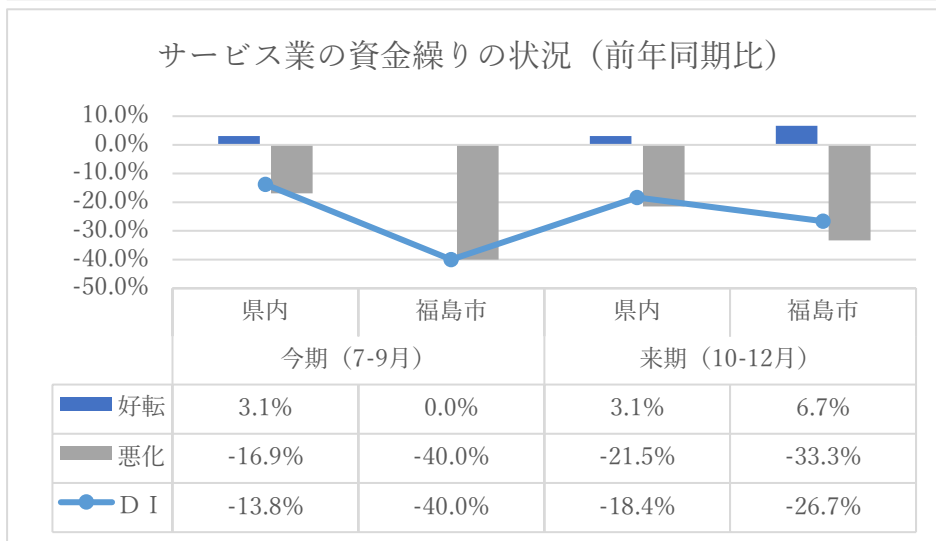
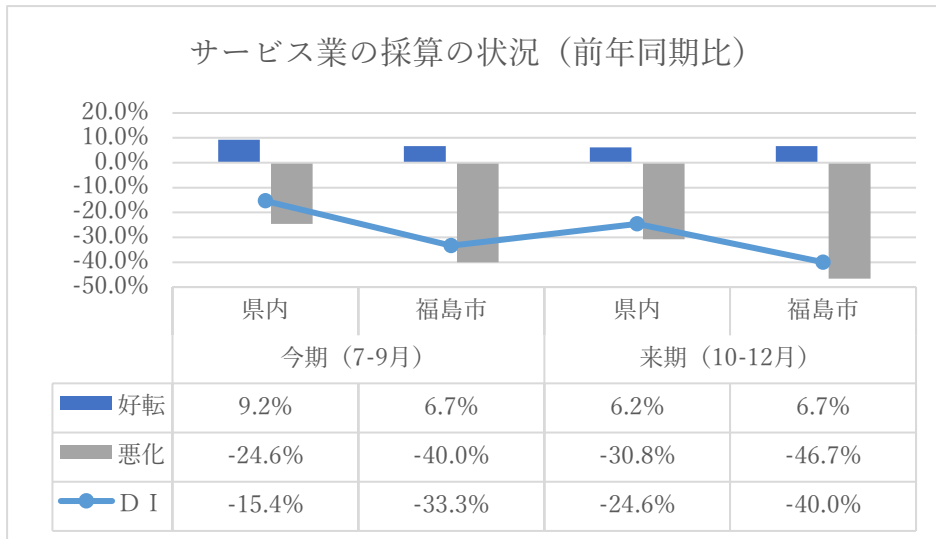


## 5. サービス業

今期（2019年7月～9月期）のDI値は、売上高△33.3%、採算△33.3%、資金繰り△40.0%と、全ての項目でマイナスの値となった。

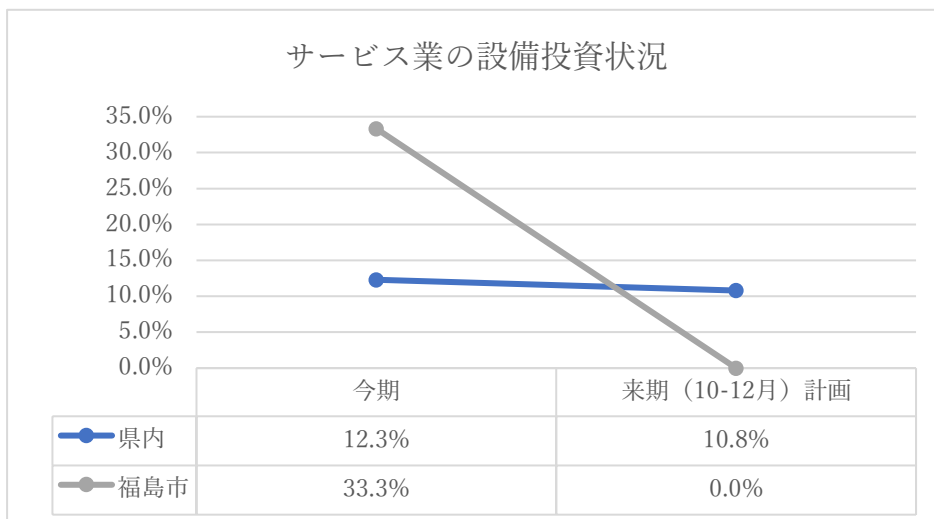
来期（2019年10月～12月期）の見通しDI値は、今期DI値と比較して、売上高△33.3%（同様）、採算△40.0%（6.7%の悪化）、資金繰り△26.7%（13.3%の改善）と資金繰りは改善がみられるが採算において悪化の見通しである。





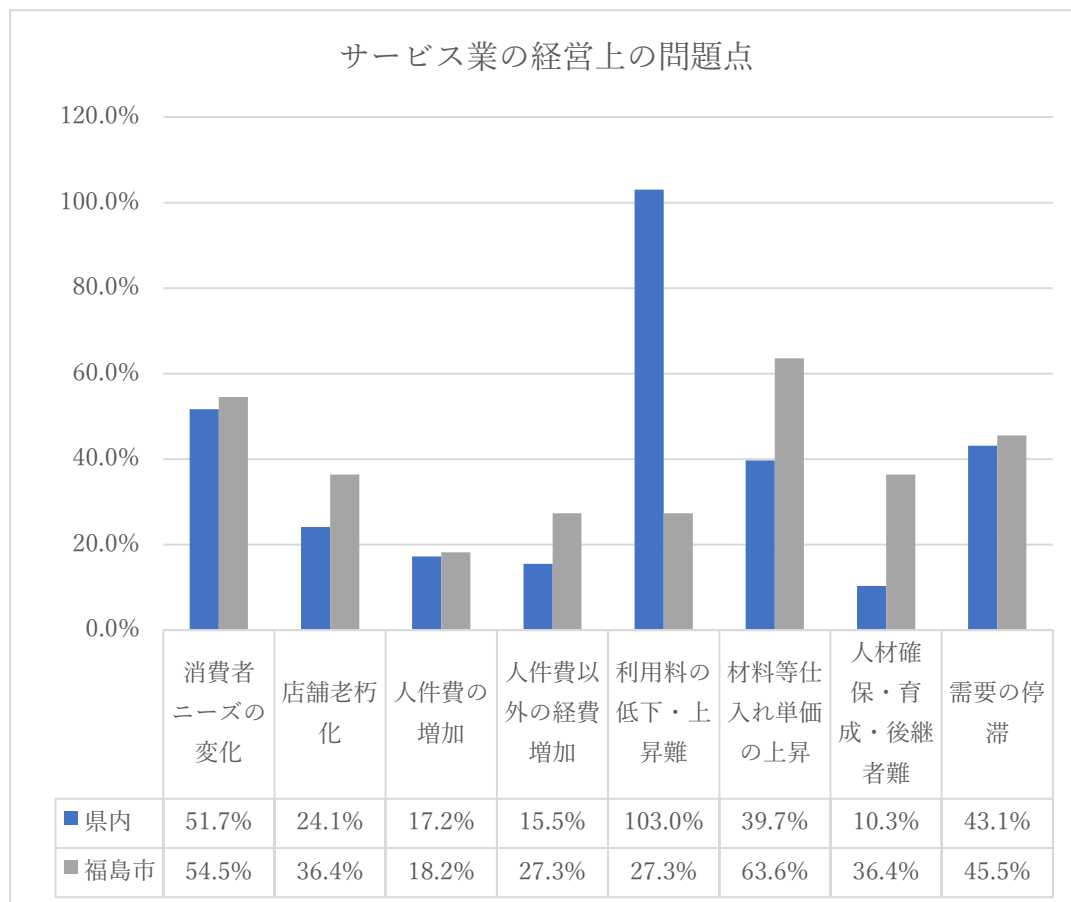
今期の設備投資実施企業は、33.3%（5社）となった。投資内容では、付帯設備（2社）、OA機器の導入（2社）、その他（1社）となっている。

また、来期に設備投資を計画している企業は0%であり、今期実績から33.3%減少している。



企業が第1位～3位まで挙げた問題点の合計は、「材料等仕入れ単価の上昇」が63.6%、「消費者ニーズの変化」が54.5%、「需要の停滞」が45.5%と高水準であり、「店舗老朽化」、「人材確保・育成・後継者難」が次いで高い。

県内全体と比較すると、「利用料の低下・上昇難」が低い一方、「材料等仕入れ単価の上昇」、「人材確保・育成・後継者難」、「店舗老朽化」といった課題を抱える割合が高くなっている。





## ■業況判断の背景

### ●製造業

#### <厳しい意見>

- ・原材料の値上がりが売値に反映できない
- ・資金繰りの悪化
- ・注文が減少してきている
- ・購買力が落ちてきているように感じる
- ・米中経済戦争による世界同時不況に直面して、我が日本は他国に無い二つのハンディを負っている。すなわち①すぐ目前に迫っている五輪不況②金融緩和の余地なし。
- ・消費税増税に伴う駆け込み需要を予想していたが、見事に外れた。おそらく増税に伴う優遇策があるため、駆け込みが起きていないと思われる。今回の軽減税率については、手間暇をかけるだけで煩雑になるだけ。税体系を簡単にすべきと思う。決算業務も面倒になる。
- ・米中貿易摩擦の影響があり、輸出関係先の取引先の販売量が減少している（主に電機関係）

### ●建設業

#### <前向きな意見>

- ・ここ1年間の売上は好調である

#### <厳しい意見>

- ・従業員を雇いたいが、人件費や社会保障を考えると躊躇してしまう
- ・連休が多いと収入減に繋がるうえ、従業員の休みや残業を減らすことにより、経営者の負担が増える。
- ・事業承継について、息子は継がないため、従業員への事業承継を検討しているが、従業員が必要な資格を取得していない。
- ・消費税率改正により、計算が複雑になりわかりにくい。

#### <その他>

- ・少ない需要の中で大企業やハウスメーカーの進出による不透明な業界だ。

### ●卸・小売業

#### <前向きな意見>

- ・今年の5～9月は、夏の暑さと消費税アップを見込んでいたためか、売上は好調であった。だが、10月以降は期待できない。
- ・冬に向けて売上は増加（灯油販売）、夏は売上減少となる。

<厳しい意見>

- ・店舗前に移動販売車が毎週来るようになったので、売上が落ちた。
- ・消費者から販売価格を大型チェーン店と比較されるが、大手と比較しても勝てない
- ・家族3名で事業を行っているが、事業主が高齢のため人が少なくなった時に継続が難しい。
- ・消費者ニーズの変化を感じる。お土産を購入する人が少なくなっている。
- ・地域の人口減少、高齢化
- ・宅配業者の送料が上がったため、送料のサービスができなくなり、お客様にとって負担が多くなったように感じられます。(中元・歳暮は特に)
- ・顧客の高齢化に伴い契約者の減少がみられる(ガス販売業)

<その他>

- ・家族経営のため、従業員もいないことから、事業承継について実感がわからない。

●サービス業

<前向きな意見>

- ・後継者が戻ってきたため、今後は経営改善が期待できる。
- ・固定客中心での営業でお客様の来店間隔が長くなると、その分自然と売り上げも減る。少しでも多く新規のお客様を取れるように努める。
- ・昨年から従業員を増やしたため、売上は月平均20万円伸びた

<厳しい意見>

- ・パソコン・プリンタのメンテナンスにお金がかかる
- ・9月の宿泊客が減少している。
- ・例年と比較し、観光客が減少しているため、売上が落ちている。
- ・消費税増税に伴う需要の停滞が今年度に入ってから始まりどこまで続くかが最大の問題点であり、軽減税率も消費者を困惑させるとともに経費負担増による経営悪化の要因である。
- ・顧客の高齢化に伴い売上が減少している。
- ・自分自身、体力の衰えを感じており、あと何年続けられるか不安
- ・周りの店もシャッターを閉めている店ばかりで今後が不安
- ・運転資金を借りたくてもこれまでの借金があるため今後の資金繰りが不安
- ・仕入単価・最低賃金の上昇と、消費税増税の影響は大きく、今後の負担増が十分に懸念される
- ・昨年と比較すると、天候不順の影響がとても大きく感じる
- ・今後の需要も見込める業種(介護関係)であるが、同業他社のサービスの質が上がってきており、対策が急務である。
- ・ガソリンが東北6県で福島が一番高く、負担が大きい